# 報告 広島県支部　定時支部総会

## 大切な支部会員の「情報交換・交流の場」

当協会広島県支部（三原一訓支部長、会員92人）は5月16日（木）、TKPガーデンシティPREMIUM広島駅前（広島県広島市）において「第32回定時支部総会」を開催した。昨年に続けて「支部研修」「定時支部総会」「懇親会」とフルスペックでの開催となった。

［プログラム］

・15：00～15：50「支部研修」
・16：00～16：50「第32回定時支部総会」
・17：00～19：00「懇親会」

研修講師を務めた広島県支部の大迫孝史氏

総会に先立ち、令和6年度第1回支部研修を実施した。演題は「ベースアップ評価料の届け出支援の実例」で、広島県支部会員/認定登録 医業経営コンサルタントの大迫孝史氏（株式会社ユアーズブレーン 財務コンサルティング部）が講師を務めた。

令和6年度診療報酬改定の重点課題である賃上げ・基本給等引き上げの「ベースアップ評価料の収入試算」の関与先の状況について、内科（20～30万円）、皮膚科・耳鼻科（60～80万円）、整形（80～100万円）と診療科目により顕著な差が出ていることが報告され、各医療機関からどの程度の支給額にすべきか、基本給、手当どちらにするか、事務職のベースアップはどうすべきか、パート従業員の賃上げと130万円の壁について等、リアルな現場の状況と対処について報告がなされた。

ベースアップ評価料は理事長の雇用に対する方針の決定が重要となること。これまでと同様に利益、役員報酬を維持していくことはかなり難しくなってくると予想されること。今後毎年発生するこれらの事務作業等を誰が行うのか、医師が自分で作業するのか、事務長を雇用するのか、もしくは医業経営コンサルタントを活用するのか。われわれの活躍する場面が増えるのではと締めくくった。会場からは講演中も次々と質問の手が挙がり、予定時間を大幅に超える関心の高いテーマであった。

支部研修会

支部総会では、議案「令和5年度事業報告及び決算承認の件」「令和6年度事業計画（案）及び予算（案）の件」「次期役員改選の件」が審議され承認された。

その後の懇親会は三原支部長の挨拶と乾杯で和やかにスタートした。杯を重ね、出席者全員があらためて自己紹介と近況報告を行い、それぞれ専門分野について会員同士の情報交換が行われ、予定時間いっぱいまで盛り上がった。

**（本部広報委員/広島県支部副支部長　藤井 康彦）**

支部総会懇親会